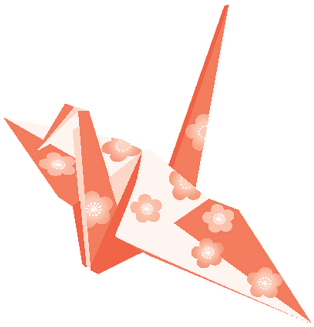
とっとり しまね おかやま ひろしま やまぐち
コープCSネット 便り
中国・四国
生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合会報
とくしま かがわ えひめ こうち
第49号
発行 2018年1月15日
通巻49号

CO-OP 9生協の夢広がるネットワーク

新年明けまして おめでとうございます

コープCSネット理事長
小泉信司



テレビCMを放送

2017年10月９日(月)より２週間
中国地区・四国地区６会員生協で
テレビCMを放映しました。

仲間づくり研修会

2017年８月、岡山市で「仲間づくり研修会」を実施し、中国地区・四国地区９会員生協から合計40名の参加がありました。

CONTENTS

ページ
2 3 コープCSネット 役員 年頭の挨拶
4 5 仲間づくりと連動した取組みを実施中！
6 7 コープCSネット トピックス
8 会員生協 トピックス

コープCSネット理事長
小泉信司

新年明けましておめでとうございます

皆様が幸多き新年を迎えられた事をお慶び申し上げます
本年もよろしくお願いいたします

昨年は世界各地でのテロの多発や長引く紛争もある中、北朝鮮問題が発生し、各国で極右政党が台頭するなど、不安が増大する中で平和の大切さを痛感する1年ではなかったかと思っております。

一方、国内では政治的な様々な問題が発生し混乱を招く中、経済は緩やかな回復基調ではありますが、個人消費は伸び悩み厳しい環境となっています。

また、私たち生協の中心業態である宅配事業も、アマゾンやセブン&アイの本格参入により新しい競争環境も生まれてきております。

そういった厳しい環境の中、連帯事業も一定の成果を生みだすことができました。日本生協連との共同事業として、この間の課題であった冷蔵・農産の物流統合準備を進めることができましたし、初めてテレビCMも行い広く生協の商品・事業をお知らせすることができました。しかしながら重要課題である、組合員のみなさんの要求・要望にお応えし、利用高を伸長させる課題については、カタログ・注文用紙や品揃えの改善・商品の開発・リニューアルなどを実施したものの、会員生協に貢献する十分な実績には至りませんでした。

２０１８年は、引き続きカタログ・商品の品揃え改善・開発を進めながら組合員の要求に応え続けること、そのうえで冷蔵・農産の物流整備を始め、宅配事業全体の損益改善・運営改善に向けて様々な提案・課題実行を進めてまいります。また　おかやまコープ・生協ひろしまの宅配事業の統一に向けての準備も滞りなく進めていきたいと考えています。

私どもは、事業連合として、会員生協そして組合員のみなさんに今まで以上に貢献できる事業を進めていくことと併せて、各会員生協と事業連合が地域貢献・社会的役割を果たせることができるよう組織をあげて取り組みを進めてまいります。

みなさまの引き続いての御支援・御協力をお願い申し上げます。最後になりますが、この一年が皆様方にとって幸多き一年となりますよう心よりご祈念申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。

コープCSネット専務理事
塩道琢也

謹んで新春のお慶びを申し上げます

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年はコープＣＳネット第５次中期計画のスタートの年。これまで積み上げてきた連帯事業を更に推進するため、会員生協・組合員に近い場所で共に考え、実践する一年としました。しかしながら、個別的な成功事例もありましたが、利用高を伸長させるまでには至らず十分な実績を上げることができず課題を残す一年となりました。国内景気は回復基調といわれていますが、消費支出をみると地方格差は拡大しており、暮らし向きが好転したといえる状況にもありません。組合員への暮らしへのお役立ちを高め続けていくことで会員生協への経営貢献を果たすためには、これまでの考えにとらわれるのではなく、お互い未来志向の持てる提案力、実践力に磨きをかけなければならないと考えております。

暮らし向きは厳しく、私たちの事業を取り巻く環境も益々厳しくなるものと予測される中、地域連携、災害支援、ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の取り組みにおける生協への期待やその役割も広がっております。皆様と一緒に全国の生協の総合力でこの難局を乗り切っていきましょう。

新たな年を迎え、組合員、会員生協の皆様方と共に考え、共に創ることを私たちコープＣＳネットも大切にし、これからの一年役職員一丸となって皆様方のお役にたてるよう取り組んでまいります。

この一年がより良き年になるよう心より祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

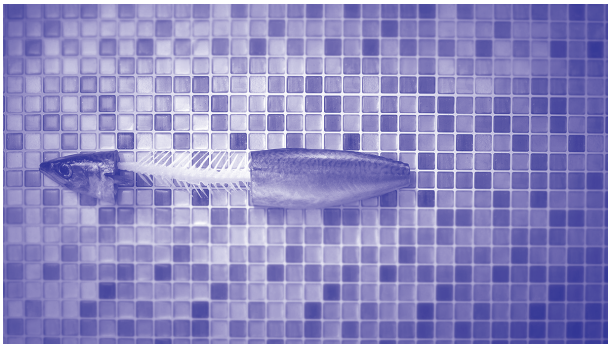
本年もよろしくお願いいたします。

会員生協の活動支援をめざして

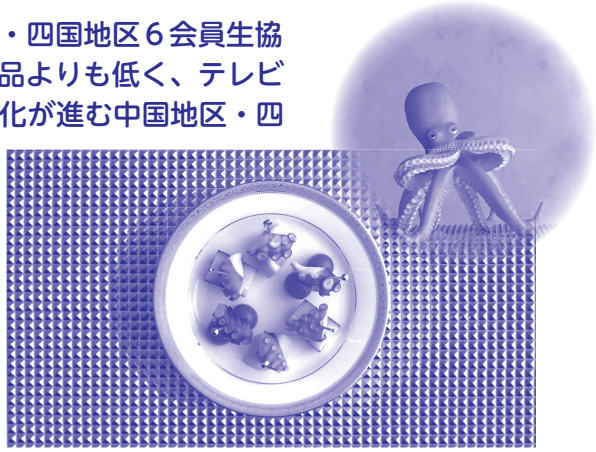
～ コープCSネットの挑戦 ～

秋の「仲間づくり」が中国地区５会員生協を中心に2017年10月９日(月)からスタートしました。「仲間づくり」は生協に加入していただくために、一般消費者に対して生協が行う営業活動のことです。コープCSネットでは、会員生協の「仲間づくり」スタートにあわせてテレビCMを放送し一般消費者にCO・OP商品認知度を向上させました。その他にも「仲間づくり」用ポスティングチラシや中国地区会員５生協統一「お試しキャンペーン商品」を提供したり、Webでの資料請求機能を高めたりと、多角的に会員生協の活動へ支援を行いました。

その１ テレビCMの放送



テレビCMは、2017年10月９日(月)より２週間、中国地区・四国地区６会員生協で放映しました。CO・OP商品の認知度は大手量販店のPB商品よりも低く、テレビCMなどの広告分野では大きく遅れを取っています。少子高齢化が進む中国地区・四国地区において、20～30歳代の子育て・ファミリー層へのアプローチを目的にテレビCMを放映することにより、既存組合員だけでなく一般消費者へもCO・OP商品の認知を広げました。会員生協の「仲間づくり」活動の中でも、一般消費者との会話でテレビCMの話題がでることも多く、短期間の放映でしたが活動を後押しすることができました。



その２ インターネットの活用「スマホでコープ」

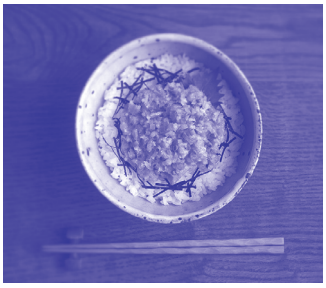
若い世代ほどインターネットへのアクセスはスマートフォンに依存しています。テレビCMは手軽さを前面に出すため、コープ九州事業連合で人気の「スマホでコープ」を採用しました。会員生協の「仲間づくり」支援のため、新たに「スマホでコープ」という名前のWebランディングページを作成し、スマートフォンで「CSスマホでコープ」と入力して検索すると、資料請求ページやお試しセット申込みページ、Web加入ページに誘導する仕組み(ランディングページへ誘導するリスティング広告)を実施しました。会員生協の広報部署にも協力を依頼し、会員生協のホームページからもリンクを貼るなどの仕掛けを行いました。ランディングページを作成したことが大きな要因となり、Web加入につながりました。

スマホでコープランディングページを新たに作成しました

その３ 食品案内チラシとのコラボレーション

既存組合員向けには、食品案内チラシ上でテレビCM対象商品に「TVCM紹介商品」というロゴを入れ、認知度の向上を図りました。また、インターネット注文「eふれんず」では、テレビCM対象商品のうち３商品を「いつでも注文(毎週受注可能)」として対応しました。CM対象商品は人気商品のため新規トライアル率は20%台とやや低めでしたが、新規トライアル組合員中でも30～40歳代の利用が伸びており、比較的若い層でCO・OP商品の認知度が高まりました。

「まるい形のまぐろたたき身丼の具」



既存組合員では「まるい形のまぐろたたき身丼の具」の30歳～40歳代の新規利用が増加しました

その４ YouTubeでの広告と動画公開

CO･OP商品認知度を向上させるため、25～54歳の女性(お子様がいらっしゃる方)を対象に動画広告を実施しました。YouTube広告表示からの視聴回数による視聴率は25.9%となっており、一般的に20%が平均の中で高い視聴率になっています。また､一般向けにもYouTubeでテレビCMを公開しており、こちらも19パターン合計での視聴回数は328,324回(2017/12/1時点)となっており、広くテレビCMが認知されていると言えます。

その他にもこんな支援も!

2017年８月、岡山市で「仲間づくり研修会」を実施し、中国地区・四国地区９会員生協から合計40名の参加がありました。今回のフィールドは岡山県岡山市。岡山県は人口192.1万人(77.2万世帯)、そのうち岡山市の人口は70.6万人(31.8万世帯)と県人口の約37%を占めます。県庁所在地での「仲間づくり」研修は、松江(島根県)、広島(広島県)に続く３回目となります。有職世帯が多い都市部特有の制約もあり、フィールドワークでの在宅率は21.7%と過去６年間の中で一番低く、地理的な制約もあり岡山市郊外の住宅地まで足を運べませんでした。そんな中でも訪問時の商品トーク率は58.2%と過去６年間の中で一番高く、研修の時にグループで考えた「商品トーク」が生かされました。

参加した研修生からは、「どのように生活にお役立ちできるかという視点が欠けていたことに気付いた」「書き出し、掘り起こすことで、対話のターニングポイントを掘り出すことができた」などの感動がありました。

次回は2018年に山口県での開催を予定しています。

研修会の様子

「商品トーク」をグループで検討します

フィールドワークの様子

フィールドワーク後の振り返り

コープCSネット　トピックス

トピックス1　次世代につながる取組みを目指して！「もずく基金」産地見学・生産者交流会

2017年８月22日(火)～24日(木)
沖縄県恩納村

　コープCSネットでは、恩納村漁業協同組合がすすめる〝里海づくり〟サンゴ礁の海を守り育む活動に、中国地区５生協及びコープかがわと共に取り組んでいます。
　今年も次世代に活動をつなげる取り組みとして、組合員さん家族と沖縄県恩納村生産者の交流を中心に「産地見学・生産者交流会」を実施し、６生協から15家族30人の組合員さん家族が参加しました。
　生協で「もずく」を利用することが恩納村のサンゴ育成に貢献していることや、サンゴが海の生態系に果たす役割を実感し、沖縄の自然環境を体験しながら、学びました。

2017年度もずく基金報告　2017年4月から11月までの基金額は **1,299,358**円となりました。(基金前年比 93.4%)

トピックス2　2017年度　第2回重点商品試食学習会を開催！

開催日：2017年９月29日(金)
場　所：おかやまコープ　オルガ（岡山市）
参　加：取引先メーカー(日生協含む)23社48名、
　　会員生協62名、コープCSネット職員41名

　2017年９月29日に2017年度第２回目となる「重点商品試食学習会」をしました。
　今回は、迎春商品、クリスマスケーキ、冬ギフト、表紙重点商品を中心とした商品の学習と試食を行いました。午後からのおせちの全体学習では、おせち生産者の報告・質疑応答や、会員生協から昨年度の成功事例報告や取り組みなどが発表されました。交流を深める中で、それぞれの取り組みを共有化することで、供給促進活動につなげる意識を高めました。

トピックス3　614,277円を贈呈

　コープCSネットでは、今年も「うなぎ資源対策協力金」に取り組み、614,277円を鹿児島県ウナギ資源増殖対策協議会に贈呈しました。今年の取組みは、期間を2017年５月１回～８月５回とし、対象商品１パックあたり３円を積み立てました。2017年10月11日(水)日本生協連コーププラザ（東京都渋谷区）で開催された贈呈式には、コープCSネットから白髭食品商品事業本部長、水産課名越バイヤーが出席し、協力金の贈呈を行いました。

トピックス4　組合員理事懇談会

開催日：2017年9月7日(木)
場　所：第一セントラルビル(岡山市北区)

　2017年度第１回目となる組合員理事懇談会が岡山市で開催されました。今回の懇談会では、越後ふとん株式会社より講師を招き、羽毛ふとんを学習しました。羽毛ふとんは、毎年冬に販売促進を行う商品でもあり、組合員理事の皆さんにもなじみ深い商品ですが、メーカーの石井さんからのお話を聞いて、「そうだった！忘れていたわ」という再発見もあり、「羽毛ふとんを企画する時には、羽毛ふとん専用の保存袋も企画してほしい」という提案もありました。

トピックス5 中国・四国エリア　広域マニュアル検証訓練を実施！

開催日：2017年９月27日(水)
会　場：コープCSネット二葉の里事務所(広島市東区)

実戦訓練の様子

複数県に被害が及ぶ「大規模災害が発生」した場合の連携に向けて、９月27日に中国地区５会員生協のBCP担当者を含む総勢39名で、大規模災害時に最も連携の重要性が問われる初動（発災から１日以内の行動）対応について訓練を行いました。進行役には、コンサルティングに定評のある㈱富士通総研にお願いし、コープえひめ、近隣エリアのコープこうべ、コープ九州のご担当者や日本生協連、(株)シーエックカーゴの職員、広島県の県職員にもオブザーバー参加していただきました。

実践訓練は、島根半島を震源とする地震が発生し、鳥取県・島根県・山口県が広域被災した場合にマニュアル通りに対応できるかを模擬体験し、実践訓練後、参加者が検討すべき内容を発表し、今後の課題について共有化を図りました。

※BCP(Business Continuity Plan)　事業継続計画。企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、取り決めておく計画のこと。

トピックス6 2017年度 第2回 品質管理担当者研修会を開催

開 催 日：2017年11月24日(金)
開催場所：コープCSネット二葉の里事務所(広島市東区)
参　　加：24名(中国地区・四国地区9会員生協、コープCSネット)

HACCP制度化に伴い、生協の宅配事業、店舗事業、夕食宅配事業においてもHACCPに基づく運営管理が求められます。「2017年度第２回　品質管理担当者研修会」では、HACCPの実際と導入のプロセスへの理解を深めるため、HACCP制度について基礎的な講義とワークショップ形式で実践的な演習を行いました。参加者からは「今後、自部門のバイヤー等に学習会を実施できるようにしたい」「もっと勉強します」などの感想があり、HACCPへの理解が深まりました。今後も実際のHACCP導入時期に向けて、コープCSネットでできる支援を引き続き検討していく予定です。

演習の様子

トピックス7 コープCSネット・コープCSネット虹の会共催 第12回 開発商品・品質管理研修会

開催日：2017年9月28日(木)
会　場：広島市東区民文化センター(広島市東区)

PB商品の取引先を主な対象とした開発商品・品質管理研修会を開催し、取引先142社197名の参加がありました。今回は、「健康商品等の適正な広告・表示」「HACCP制度化と食品安全規格をめぐる状況と対応」について、それぞれ専門の講師を招き、講演を行いました。特にHACCPは、厚生労働省が制度化に向けた準備に入っており、HACCPを導入していない製造者にとっては差し迫った課題のひとつです。参加者からも「参考になった」という感想を多くいただきました。

トピックス8 災害復興支援・応援積立金 4,113,506円に!

コープ CS ネットでは、多発する自然災害に柔軟な対応ができるように「災害復興支援・応援積立金」として、2017年４月１回～2017年９月４回までの対象商品の供給代金の一部を積み立てていました。

2017年度の積立金額は、**4,113,506円**と目標の400万円を上回ることができました。

＊集まった積立金は、中国地区５会員生協に振り分けます。2017年度の災害復興支援・応援積立金の用途は、中国地区会員生協で決定されます。

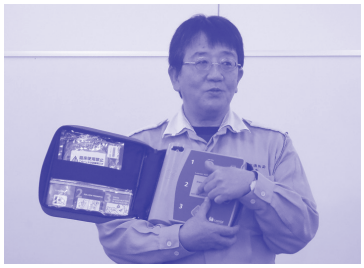
対象生協：中国地区５会員生協
対象商品案内チラシ：HelloCoop、CIEL、Deli-Co、ここくる
対象商品：表紙掲載商品　ご利用１点につき１円を積立。

～2018年度について～
2018年度も引き続き「災害復興支援・応援積立金」に取り組む予定です。

トピックス9 救命講習を実施

開催日：2017年11月30日(木)
会　場：コープCSネット二葉の里事務所(広島市東区)

救命講習が実施され、コープCSネット各課からの代表者が参加しました。現在、広島県では救急車を呼んでからの到着までは７～８分。広島市は５分程度で到着します。救急車が到着するまでの間に「どれだけ救命措置ができるか」が命を救う鍵となります。講習の中では、救急車を呼ぶタイミングや判断、救急車が到着するまでの基本的な救命措置(胸骨圧迫など)、AED（自動体外除細動）の使い方など、実践的な学習、実地訓練を行いました。


広島市東消防署より講師を招きました

会員生協トピックス　2017年11月～12月に行われた平和活動を紹介します

生協ひろしま　小学校で折り鶴昇華再生体験を行いました

2017年11月15日(水)、広島市立安東小学校の６年生89名が、折り鶴昇華再生のため、折り鶴から糸やリボンを外して分別する作業を体験しました。これは、年間を通じて行っている「平和」をテーマにした総合的な学習で、この日は作業をしながら折り鶴に込められた思いを胸に刻みました。

～参加した児童の感想文より～

今まで、おりづるが再生紙になっていたことは知っていたけど、どのように、おりづるだけを再生紙として使うのかわかっていませんでした。でも、昇華活動をしておりづるだけを再生紙として使う作業を知ることができました。おりづるに思いが書いてあったり、外国からも私達と同じように、平和への強い思いが伝わってきて、うれしいなと思いました。これから、おりづるの再生紙が、いろんなところへ届けられて、１人でも平和について考えてもらいたいと思いました。

分別作業を体験する子どもたち

鳥取県生協　ユニセフ募金活動　ハンド・イン・ハンド

西部エリア：2017年12月2日(土)（イオン日吉津）

当日は天候に恵まれ、サンタ衣装を着た可愛い「子どもサンタ」に、多くの方に足を止めていただきました。

中部エリア：2017年11月18日(土)（倉吉未来中心）

会場の入り口にポスターを掲げ、ユニセフの活動をお知らせするリーフレットをお渡ししながら募金への協力を呼びかけました。気温が低いあいにくの天気でしたが、イベントで来館された多くの方に募金いただきました。

東部エリア：2017年12月9日(土)（イオン鳥取北店）

多くの子どもたちの参加があり、「子どもたちに明るい未来を～！」と元気よく呼びかけ、たくさんの募金が集まりました。寒い中での募金活動でしたが、心がとても温かくなりました。

（募金総額）

71,200円の募金をいただきました。

ユニセフ募金活動　ハンド・イン・ハンドの様子

とくしま生協　キャンドルナイトを開催しました

キャンドル作りの様子

12月３日(日)、平和委員会主催で初めて「キャンドルナイト」をコープ住吉で行いました。

参加者15名(大人６名、子ども９名)、スタッフも含めて20名で楽しい時間を過ごしました。持参してもらったジャムなどの空瓶に飾り付けをし、最後に全員で絵柄に並べて灯そうという取り組みです。全員が飾り付けを終えてから別室に移動し、予定している絵になるように並べます。そして並べ終え、部屋の灯りを消すと「平和」の文字とスマイルマークが浮かび上がり大きな歓声が…。とても幻想的で綺麗でした。

このような何気ないひと時が、今が「平和」である証…。たまに集まって「平和」の有難さを実感するのも有意義な時間だと思います。

部屋の灯りを消すと「平和」の文字とスマイルマークが浮かびあがりました

このような子どもたちの笑顔が「平和」の中でいつまでも続きますように…。

今後も平和委員会は、このような時間を大切に活動していきます。

発行:2018年1月15日･通巻49号　発行責任者:小泉信司　　発行事務局:総合企画室
生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合　〒732-8504 広島県広島市東区二葉の里1丁目1-46　TEL:082-236-6800

VEGETABLE OIL INK 植物油インキを使用しています。
見つめよう 暮らしと地球
資源を有効に、古紙を配合した紙を使用しています。